

第14回 日本司法精神 医学会大会

in YAMAGUCHI

The 14th Annual Conference of
the Japanese Society of
Forensic Mental Health

大会
テーマ

至誠と矜持～

司法精神医学が
担うべき使命を問う

会期 2018年(平成30年)

6月1日(金) ▶ 2日(土)

会場 山口県総合保健会館
(山口県山口市吉敷下東3-1-1)

会長 兼行 浩史
(山口県立こころの医療センター 院長)

副会長 中川 伸
(山口大学大学院医学系研究科
高次脳機能病態学講座 教授)

1日目 / 6月1日(金)

特別講演Ⅰ 精神科救急からみた司法精神医療体制の課題

平田 豊明 (日本精神科救急学会理事長、千葉県精神科医療センター名誉院長)

特別講演Ⅱ 超高齢社会における司法精神医学の役割と倫理—至誠と矜持をもって

松下 正明 (東京大学名誉教授)

シンポジウムⅠ 医療観察法と司法医療体制の改革に向けて

シンポジウムⅡ 刑事精神鑑定のある方、法曹と対話するために

2日目 / 6月2日(土)

シンポジウムⅢ 司法精神医学の教育・研修体制の構築

ワークショップⅠ 刑事精神鑑定事例検討会

ワークショップⅡ START-J

菊池 安希子 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所司法精神医学研究部室長)

連絡先

山口県立病院機構山口県立こころの医療センター内
第14回日本司法精神医学会大会事務局担当: 桑本 / 西川 / 西田
メール: shihou14@ymghp.jp

演題応募と参加登録については、下記の
ホームページをご確認ください。
<http://www.shihou14.jp>

特別講演について

特別講演I「精神科救急からみた司法精神医療体制の課題」

▶日本精神科救急学会の平田豊明理事長から、措置入院制度の改革を踏まえて提言して頂きます

演者 平田 豊明 (千葉県精神科医療センター名誉院長)

特別講演II「超高齢社会における司法精神医学の役割と倫理—至誠と矜持をもって」

▶本学会の創設に尽力された松下正明初代理事長から、高齢社会における新たな課題を論じて頂きます

演者 松下 正明 (東京大学名誉教授)

ランチョンセミナー「統合失調症の病態生理学的モデルと予後・転帰改善へのストラテジー」

演者 倉知 正佳 (富山大学名誉教授)

(共催:大日本住友製薬)

シンポジウムについて

シンポジウムI「医療観察法と司法医療体制の改革に向けて」

▶我が国の司法精神医療体制はいかに構築されるべきか、医療観察法の13年を振り返り、今後の改革の方向性について議論します

座長

村上 優 (国立病院機構 榊原病院)

中島 豊爾 (岡山県精神科医療センター)

シンポジスト

平林 直次 (国立精神・神経医療研究センター病院)

山本 輝之 (成城大学法学部)

来住 由樹 (岡山県精神科医療センター)

シンポジウムII「刑事精神鑑定のあり方、法曹と対話するために」

▶裁判員裁判を踏まえ、法曹による刑事責任能力判断に資する精神鑑定の実践的なあり方について議論します

座長

五十嵐禎人 (千葉大学社会精神保健教育研究センター)

川本 哲郎 (同志社大学法学部)

シンポジスト

岡田 幸之 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)

稗田 雅洋 (早稲田大学大学院法務研究科)

村松 太郎 (慶應義塾大学医学部精神神経科)

シンポジウムIII「司法精神医学の教育・研修体制の構築」

▶本学会の重要なテーマである司法精神医学・医療の教育・研修のあり方について、さまざまな立場から議論・提言します

座長

松原 三郎 (松原病院)

古茶 大樹 (聖マリアンナ医科大学神経精神科)

シンポジスト

八木 深 (国立病院機構 花巻病院)

椎名 明大 (千葉大学社会精神保健教育研究センター)

梅本 愛子 (大阪府立病院機構 大阪精神医療センター)

村田 昌彦 (国立病院機構 榊原病院)

会場のご案内

山口県総合保健会館 (山口県健康づくりセンター) 山口市吉敷下東三丁目1番1号 TEL:083-934-2200 FAX:083-934-2209

